

時下ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

さて 私は、このたび7月11日付けをもちまして文部科学省科学技術政策研究所長を退任するとともに、34年余にわたる公務員生活に一区切りをつけることとなりました。科学技術政策研究所長在任中、公私ともに格別のご厚情とご指導を賜りましたことを心より厚く御礼申し上げます。

省みますと、昨年7月18日に第15代の所長に発令されて以来、多くの関係者の方々に支えられて充実した日々をすごすことができました。

この間、

- ・ 事務所の霞ヶ関への移転及び政策研究大学院大学におけるサテライトオフィスの新設
- ・ 政策研究大学院大学との連携協力協定の締結
- ・ ナイスステップな研究者2007の選定
- ・ 平成20年度定員要求における1名増員
- ・ 総合科学技術会議の要請に基づいて第3期科学技術基本計画のフォローアップの担当決定
- ・ アジア科学技術フォーラム、日中科学技術セミナー、日中韓科学技術政策セミナーなどでの講演
- ・ 全米科学技術振興協会（A A A S）ワークショップの開催提案
- ・ 科学技術政策研究所20周年記念式典

等の多くの重要な案件を担当することができましたことを心から光栄に思っています。

今後とも、科学技術政策研究所の業務に変わらぬご支援をお願いするとともに、私も引き続き、科学技術推進の一翼を担うべく、研究開発の現場で働かせていただくことになる予定ですので、今後とも一層のご厚誼を賜りますようお願い申し上げます。

皆様方のご健康とご発展をお祈り申し上げます。

平成20年7月11日

木村 良



ありがとうございました